

## 会議結果のお知らせ

令和5年度第2回宮古市環境審議会を、次のとおり開催しました。

令和5年10月20日

宮古市環境審議会

### 1 開催日時

令和5年10月11日（水）午後3時00分～4時45分

### 2 開催場所

宮古市役所5階5-3会議室

### 3 議題

(1) 宮古市地球温暖化対策実行計画について（検討資料説明）

### 4 会議の概要

会長が議長となり議事を行い、事務局から検討資料を説明した。  
詳細は、別紙会議録のとおり。

### 5 問い合わせ先

宮古市エネルギー・環境部 環境課 環境係  
電話62-2111（内線1721）

令和5年度第2回宮古市環境審議会会議録

1 開催日時 令和5年10月11日（水）午後3時00分～4時45分

2 開催場所 宮古市役所5階5-3会議室

3 出席者

(1) 委員

菅原 省司、関川 實、齋藤 敏通、武内 寛、竹谷八千代、盛合 敏子、大棒レオ子、西澤 勝美、佐々木 学、寶 由夫、及川 隆一、高辻 陽介、野場 和彦、懸田 節

(2) 事務局

三上エネルギー・環境部長、久保田環境課長、小笠原脱炭素推進係長、上田環境係長、乙戸環境係主任

4 審議会概要

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 事

宮古市地球温暖化対策実行計画の検討資料について、事務局が資料により説明した。その後、質疑応答及び意見等を受ける形式で進行した。要旨は次のとおり。

質問・意見等	回 答
<p><b>【委員】</b> 再エネ導入容量のkWと再エネ導入ポテンシャルの億MJ（メガジュール）について単位が異なるためイメージしにくい。</p> <p><b>【委員】</b> 家庭部門での取り組みは、モデル地域やモデル世帯等を選定して取組を推進してはどうか。</p> <p><b>【委員】</b> 宮古市への再エネ導入ポテンシャルは風力が大きく、次いで太陽光となっているようだが、野生動物等の自然保護を考えると、自然への環境負荷が少ないものを目指してほしい。</p> <p><b>【委員】</b> 宮古市版シュタットベルケとあるが、どのようなものか。</p>	<p><b>【事務局】</b> ご指摘のとおり単位が異なるため、比較がしにくい資料となっております。今後は留意します。</p> <p><b>【事務局】</b> 国の脱炭素先行地域の計画認定を受けており、モデル的な取組はその先行地域において推進していくこととしています。そのため、本計画は市域全体の計画として、策定しようとするものです。</p> <p>→（意見）</p> <p><b>【事務局】</b> 市が再エネ事業に出資して、それにより得た配当等の利益を基金に積み立て、市の課題解決のために活用する仕組みです。</p>

**【委員】**

水素エネルギーの活用については、どうか。

**【委員】**

CO<sub>2</sub>排出量は少しずつ減少しているが、再エネ導入量を増やしていく、というところに違和感を覚える。

**【委員】**

市の森林面積が91.8%ということでバイオマス発電のため、樹木の伐採が見られる。促進区域で「地域の環境保全」という記載もあるが、木を伐採して植林をする際、樹種の選定もしているのか。

**【委員】**

ゾーニングマップ説明会を実施したと思うが、何人くらいが参加したのか。

**【委員】**

市役所が積極的に取り組むことには、大いに賛成する。その中で、職員の通勤形態はどうなっているのか。公共交通の利用促進を働き掛けた方が良いと思う。

**【委員】**

市役所としての現計画での実績で、排出量を削減できた要因は何か。

**【事務局】**

まだ技術的に実装されていないこともあり、具体的な記載はありませんが、将来的な活用については、検討していきます。

**【事務局】**

総エネルギーを増やすことが目的ではなく、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を目的とした再エネの導入です。

**【事務局】**

エネルギーの地産地消による地域内の経済循環も目的としたものです。

**【事務局】**

森林面積全てを活用しようとするものではなく、現在、ゾーニング事業も行っているが、「環境を保全すべき区域」と「事業を促進・誘導すべき区域」を明確に区分するための促進区域と考えています。

伐採後に植林する樹種の選定方法までは把握しておりません。

**【事務局】**

川井、新里、田老、宮古の4地区で開催し、人数は多くありませんでしたが、各地域特有の意見が出されました。

現在、パブリックコメントも実施中ですので、ご意見を頂ければと思います。

**【事務局】**

現計画の取組にも公共交通機関を利用することは記載しており、積極的な利用について庁内で取り組んでおります。

**【事務局】**

市職員だけでなく、市議会議員や事業者も含め、市全体での利用促進に取り組んでいくべきものと考えております。

**【事務局】**

本庁舎の電化が大きな要因ではありますが、電気のコマメな消灯や、エアコンの設定温度等の取組も進めています。

<p><b>【委員】</b> 電気自動車とかの普及も考えていると思うがどうか。また、CO<sub>2</sub>の収支みたいなものもあるのか。</p> <p><b>【委員】</b> 提案ですが、JR山田線で貨物列車を走らせるようなことは出来ないのか。トラックは列車よりタイヤの摩擦でエネルギーを多く使用するため、有効な手段の1つと考える。関係機関との交渉等が必要とは思いますが、どうか。</p>	<p><b>【事務局】</b> エネルギー推進課で電気自動車等導入促進補助を行っています。施策の1つとして自動車EV化の推進を進めています。 また、資料に記載しておりますが、森林吸収量を含めると、2030(R12)の目標値でマイナスとなる見込みとなっております。 しかし、本計画では森林吸収量を加味しない形で削減目標を設定し、取組を進めていきたいと考えております。</p> <p><b>【事務局】</b> 市民・事業者・市とで一体となって取り組むことが必要であり、運輸事業者等とも意見交換をしたいと考えております。 今後の参考とさせていただきます。</p>
---	--

(4)その他

各委員から意見があった。要旨は次のとおり。

意 見	回 答
<p><b>【委員】</b> 公共交通の利用について、市職員のみ の取組ではなく、私たち市民も取り組ま なければならないと感じた。</p> <p><b>【委員】</b> 人工林を伐採後、基本的には植林を行 っている。樹種としては、経済林として 林家が育成してきたものなので、生育が 早いカラマツとなっている。</p> <p><b>【委員】</b> 国有林の伐採についても、間伐を基本 とし、皆伐した際は植林している。</p>	

(5) 閉 会